

活動種別	組織の名称	組織の所在地	工夫の概要
防災教育	いしがみ ➤ 石神自主防災会	➤ 埼玉県新座市	➤ 誰でも参加しやすいソフトな訓練項目、楽しいゲームや子ども達とともに災害食料理を作る等、防災意識向上に焦点をあてた訓練を実施。
	のより ➤ 豊橋市野依校区防災会連絡協議会防災訓練等実施検討小委員会	➤ 愛知県豊橋市	➤ 学校、PTA及び校区自治会と連携して、親子ウォーキングを行い、通学路の危険個所の把握、街頭消火器の位置確認、防災講話等を実施。
避難行動要支援者対策	くめちよう ➤ 久米町西連合防災協会	➤ 香川県坂出市	➤ サロン活動を積極的に支援することで、高齢者との親睦が深まり、災害時要配慮者支援登録も順調に進んでいる。
避難所運営	こひなただいまち ➤ 小日向台町町会	➤ 東京都文京区	➤ 避難所運営協議会(2町会、学校、民生員、区防災課の代表者達で構成)で、避難所訓練の企画を立て、消防の協力を得て訓練を実施。
	せんげんじ ➤ 泉源寺自主防災部	➤ 京都府舞鶴市	➤ 町内にある高校と避難場所使用協定を締結。災害時には当自主防災部の判断で自主的に避難所を開設できる。 ➤ 自主防災部ファイルを作成し全役員とそれに準ずる者、隣組長及び民生委員に配布。 (内容)活動目標、計画(中期・年度)、組織図、役割分担、伝達網、防火施設配置図 等
地域の様々な団体との連携	ごしょみ ➤ 藤沢市御所見地区防災組織連絡協議会	➤ 神奈川県藤沢市	➤ 隣接する地区と防災リーダー講習会を開催。 ➤ 13地区の防災組織全体会を通じて情報の共有。 ➤ 年間活動計画を策定し、計画と実績の一覧表を作成。PDCAサイクルを回すことで、実施結果のフォローアップにつながり参加意識が向上。さらに、防災組織以外の地域活動団体との連携機会を増やすことで改善意識が向上。

現地視察先の候補一覧②

活動種別	組織の名称	組織の所在地	工夫の概要
地域の様々な団体との連携	<small>かみやまなし</small> 静岡県袋井市上山梨連合自主防災隊	静岡県袋井市	学校側との連携を強化することで、生徒の支援要請がしやすくなることになり、生徒、保護者の参加者が増加。日頃の住民のつながりができているため、人口3,500人中、防災訓練には1,300人～1,500人が参加。
男女共同参画	<small>みその</small> 美園地区自主防災組織	大阪府八尾市	昼間帯にあっては、防災活動の可能な若手は、圧倒的に女性が多い現状を踏まえ、女性だけでも防災活動ができるように、女性による防災力の向上を図る防災訓練の実施。
	<small>おえはま</small> 岡山県笠岡市生江浜自主防災会	岡山県笠岡市	身近な災害時の食の備えをテーマに災害時の料理実践教室の開催に合わせ、防災研修を同時開催することで女性の参加が増加。
防災の視点を取り入れたアイデア活動	<small>ひがしかいがんきた</small> 東海岸北二丁目自主防災会	神奈川県茅ヶ崎市	感震ブレーカーの全戸設置を目指し、役員を中心とした取付け担当者が、高齢者世帯から順に設置を働きかけ約75%（550戸）完了。働きかける際は、取付け担当の男性と民生委員経験者の女性がチームを組んで訪問し、同意がとれ次第、その場で取り付ける方法をとっている。
	<small>えんざん</small> 円山地区自主防災連絡協議会	福井県福井市	各種団体が企画実施するイベントに参加し防災啓蒙活動を実施（自防連、自治連、社会福祉協議会、児童館、子供育成会等） 自治会長と防災会長の兼務解消及び自治会長任期終了後、防災会長に就任するルールの制定。 防災会長等会議による各防災会の取組、課題等の共有化と水平展開。